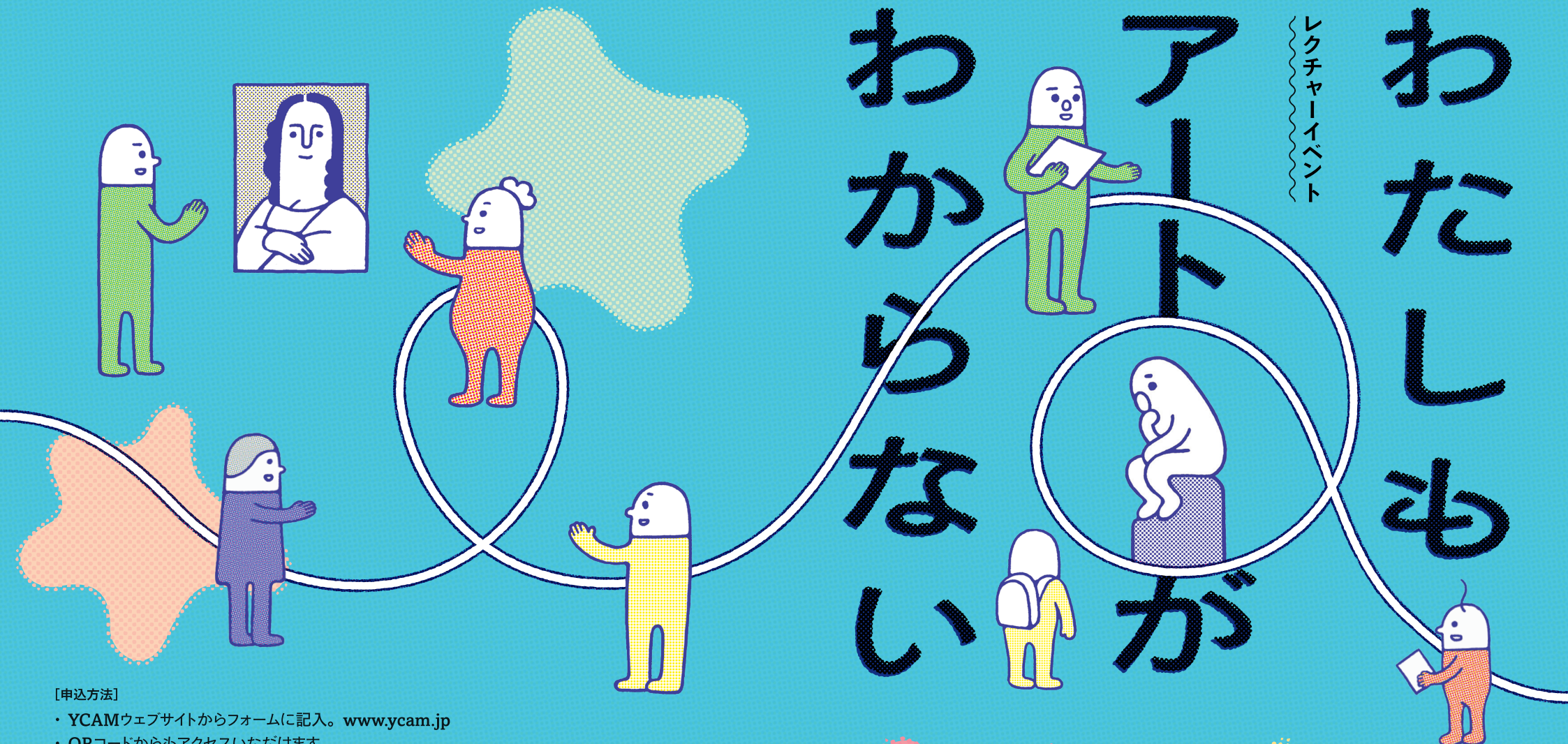


わたしも

レクチャーイベント

アートが

わからない



[申込方法]

- ・ YCAMウェブサイトからフォームに記入。 www.ycam.jp
- ・ QRコードからもアクセスいただけます。
- ・ 申込多数の場合は抽選となります。

[託児について]

- ・ 有料となります。
- ・ 託児をご希望の方は、各開催日の一週間前までにチケットインフォメーションへお申込みください。

主催：山口市、公益財団法人山口市文化振興財団
助成：令和4年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業
後援：山口市教育委員会
共同開発：YCAM InterLab
企画制作：山口情報芸術センター [YCAM]



山口情報芸術センター
Yamaguchi Center for Arts and Media
〒753-0075 山口市中園町7-7
TEL: 083-901-2222
www.ycam.jp
information@ycam.jp

vol.2

「わからない」からはじまる
コミュニケーション

2022年

7/30 | 土 | 14:00-16:00

講師=福のり子

vol.3

「わからなさ」の
重さをはかる

2023年

2/4 | 土 | 14:00-16:00

講師=渡辺健一郎

対象：中学生以上 定員：各回 35 名 会場：山口情報芸術センター[YCAM]
参加無料(要申込/抽選) ※一日のみの参加も歓迎!



わたしもアートがわからない

作品鑑賞の奥深さに迫る計2回のレクチャーイベントです。「アートって難しい」「どう鑑賞したらいいかわからない」と思ったことのある方、どうぞお気軽にお申し込みください。

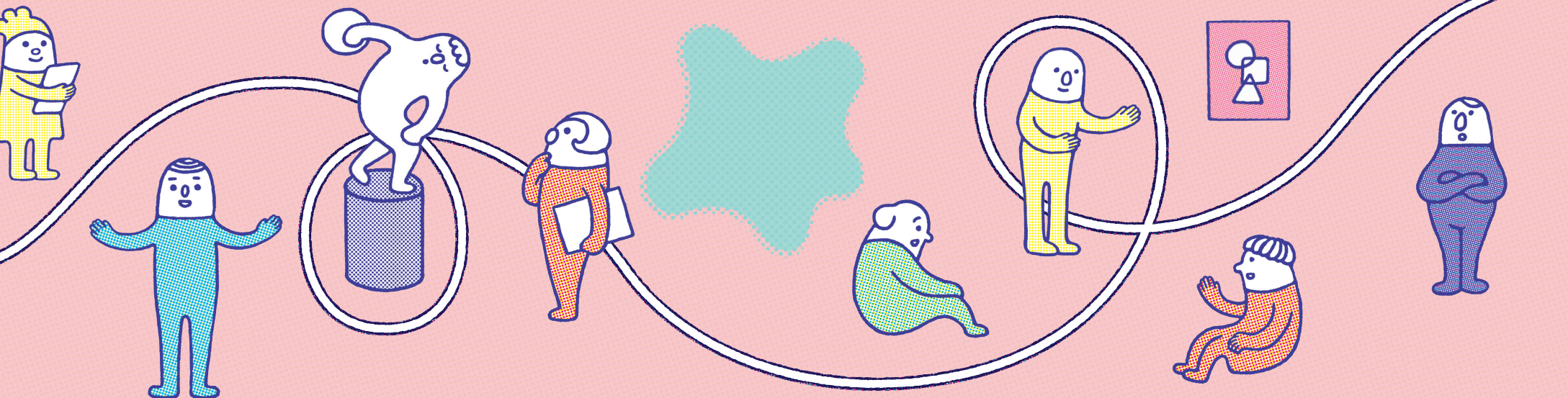
vol.2

「わからない」から はじまるコミュニケーション

講師＝福のり子

京都芸術大学アート・コミュニケーション研究センター所長
美術教育研究家／キュレーター

講師の福のり子は「作品を深く鑑賞すること」と「他者とのコミュニケーション」には密接な関係があると考え、これまで教育現場や美術館で対話型鑑賞の普及活動に取り組んできました。このレクチャーでは、実際に講師が参加者とコミュニケーションしながら作品鑑賞をおこない、芸術表現をめぐる「わからなさ」に対するひとつのアプローチをご紹介します。



福のり子

専門領域は鑑賞教育学、美術館学、現代写真、キュレトリアル。1991年、ニューヨーク近代美術館（MoMA）で研修員として勤務しているときに対話型鑑賞と出会う。2004年、京都造形芸術大学（現京都芸術大学）教授に就任後、日本の大学で初めて、対話型鑑賞を年間授業に取り入れた Art Communication Project（ACOP）を立ち上げる。また学内のみならず、美術館や教育機関を対象に、鑑賞者の育成及び作品と鑑賞者をつなぐファシリテーターの養成を目的とした講座やワークショップを多数開催。共著に『美術館ものがたり』、翻訳書に『なぜこれがアートなの』（淡交社）など。

vol.3

「わからなさ」の 重さをはかる

講師＝渡辺健一郎

俳優・専業主夫

講師の渡辺健一郎は、演劇と、演劇にまつわる「ワークショップ」の研究に取り組んできました。これまで絵画や彫刻作品などを取り上げてきた本シリーズですが、今回は演劇やパフォーマンスといった身体表現を取り上げ、わからなさを目の前に思考することの面白さをお伝えするとともに、私たちのまだ知らない鑑賞の奥深さに迫ります。



渡辺健一郎

1987年生、横浜市出身。俳優、専業主夫。妻の転職を機に、書店員の仕事を辞め大阪府高槻市に移住。以来、小・中学生を対象にした演劇ワークショップにたずさわるなど、演劇、教育のまわりの活動を扶養の範囲内で続けている。ローマシアター京都リサーチ・プログラム「子どもと舞台芸術」2019-2020年度リサーチャー。2021年、評論「演劇教育の時代」で第65回群像新人評論賞受賞。著作に『自由が上演される』（講談社、2022年8月刊行予定）。得意料理は春巻き。現在の関心は「俳優にとって自由とは何か」。